

平成25年度 対話集会におけるご意見・ご質問まとめ

区 分	ご意見・ご質問	回 答
阿 木	リニアのまちづくりで都会からの農業体験観光として、阿木に有るコテージを利用し周辺農地で農業体験する事は出来ないか。	阿木コテージの活用について観光課へ提案としてお伝えします。
	議員報酬・政務調査費について協議予定とありますが、どのような協議内容を予定されていますか。	合併前と議員報酬・政務調査費は変わっていないので、委員会で今後適正な額を協議する予定です。
	現状余り多い額と思わないので、協議し活動出来る適正額に。	要望
	広域戦略イメージ図でR257はあるが、R363三河方面ルートがない。大都市豊田市、浜松市方面への道路は坂本リニア停車駅のためにも必要ではないか。	広域戦略イメージ図は観光を主にした図で、広域道路網には三河美濃連絡道路として入っています。
		補足ですが三河美濃連絡道路は期成同盟会があり毎年総会を行い上級機関への要望も行っています。現在濃飛横断道路の建設が進んでおり、今後三河美濃連絡道路の整備が進められます。
	皆さんにお渡しした米は阿木地区で品種改良した米で、農林事務所の評価結果表も入れてあります。現在レストラン等の偽装問題もありますが、この米は正真正銘阿木産で、今後育てて行きたいので、支援をお願い致します。	地域には自分達が気付かない宝物も有り、阿木のお米同様探して行きたいです。
	市民病院の医療過誤問題が報道され、其の度に補償している。恵那病院では聞かないが、議会の監視、医師への対応はどうか。	新聞報道は4、5年前のことで裁判での結果として報道されました。医師・看護師による検討会は行われています。特に出産はリスクが多く、恵那で容態が悪く成ると市民へ送られる、中核病院の立場もあり、文教民生委員会でしっかり見て行きたいです。医療活動は難しい中、現在市民病院医師等はしっかりやっています。施設の充実等支援して行きたいです。
	農業への対応でTPP問題、補助金カットが示されている。市長・議員皆さんは農業への理解者と思う。現在米価は1.2万円で生産額は1.6万円で差額の4千円を生産者が負担している。米の生産で生活出来る様議員の立場で考えてほしい。中津川の米が美味しいと広く発信していただきたい。今回の品種改良には市からの補助金なしでやった、何をするにも金で市民の為に支援していただきたい。	議員全員に伝えて行きます。いただいたお米は早速いただき評価について回答させていただきます。

民生児童委員会活動から阿木地域の問題について伺います。 ①未満児保育について……後程渡辺さんが詳しく伺います ②阿木診療所について……阿木診療所の改善要望 ③市議定数について……小選挙区制への考え	①②は要望としお聞きします。③議員定数は議員全員合議決定し次回選挙は21名で実施されます。変更には新たに検討が必要です。
市政報告で山口地区に議員がいない現状と市民の声をもって聞けばと片桐議員は書かれていますが、その意図は何ですか。 では本日出席の議員の考えを順番に聞かせていただきたいです。 後はどなたも同じだと思いますので結構です。	本日は議会全体の対話集会で個別のことは個別でお願いします。 現在も私は地元以外も訪問勉強し議会活動を行っています。議員数が減少しても、議員がしっかりと勉強し対応することと考えます。 議員は議員全員で協議し、議員が市域全体を見ることと考えます。 皆様負担の市税・県税・国税そして自己負担等を活用して市民の安心・安全の市政事業を提案し実施するのが行政力で、その事業を議決し監視・提案するのが議会力と思い、議員それぞれが勉強し任務を果たすことと考え議員数は協議し決定すれば良いと思います。 別紙に名前が書かれていますのでお答えします。病院の利用については、身近な病院・診療所で掛かり付け医師を持っていただき、重篤な病気の時に紹介状いただき市民病院への意味で当時発言しました。
ポケット代表として未満児保育・一時預かりについて伺いますアンケート結果からも預け先が無く困っている方が多い、小さな阿木地域ですが是非実施していただきたい。	議員全員に伝えていきます。
未満児保育・一時預かりを公共で実施してほしい。	要望

中津川市は第三セクターが多い、阿木にもありますが今後の維持費も多いと思います、今後の考え方を伺います。	合併して沢山の施設・第三セクターがあります。市ではマスタープランを作り適性管理を進めています。最終目標が20年後です。
市民病院へ掛かったが、薬の量が多いと感じた、どう思われるか。図書館より病院と言われた議員もいますが、現在の医師はパソコンと向き合い患者を余り診ていないと思うがどうか。	自分も市民に掛かったが検査中は薬が一切出なかったです。以前は多い時もあったと思います。電子カルテの導入により、パソコン対応が多くなりました。患者と向き合うのが本来の姿と思います。ある医師の講演を医療関係者が聞いています。医師と患者の心の繋がりが一番との講演で、今後対応していただけたと思います。
阿木地域は過疎化が進んでいる、地元定住への受け入れ対策やその窓口は何处でやるのか。	過疎化対応の良い手法がなかなかありません。現在UIターン住宅等で対応して、入居者と地元の方々の交流をお願いしています。窓口は定住推進部で行っています。
	市も縦割り行政で総合的に要望者に対応する事が大切で意見を出していただき総合的に進める必要があると考えます。
耕地を宅地にするには農地法等問題が多いが、定住促進を行うには農地法等問題解決が早道と考えるが。	要望
区長会を通し、農地法の早期解除を要望しています。解除出来れば早期に住宅建設を予定されています。	要望
市民との対話集会だから、議会報告は要点の報告で対話の時間を多くしていただきたい。	要望
図書館建設中止で必要な全体金額はどれだけか。	建設中止で国へ約4億円、建設費で約1億円、今後賠償金の話し合いで7千8百万円を協議中です。敷地の基礎杭撤去に2億8千万円で、敷地は再利用を検討しています。
図書館が病院になった、病院の医師、看護師の対応をしっかりと。	病院への要望は各方面からも沢山いただいております、全議員で対応していただきたいです。

蛭川	議会改革で中津川市は女性議員が少ない、女性議員の進出について委員会で話されたか。	女性議員対応の話はされていません。国の動きは女性の参加方向に向かっていきます。女性議員が参加出来れば良いと思います。
		女性が参加出来るようにしたいです。前回選挙で地域で推薦しましたが、親・兄弟の身内の理解がありませんでした。議員は外へ出る事が多く、女性が出やすい手法を考える必要があります。
		現在議員は私一人で女性の意見となってしまう、是非多くの女性議員を望みます。こうした会にも女性が参加していただきたいです。
	地域交通の現状ですが、蛭川の位置は西のはずれですが、以前は三社の交通会社が入っていた。過疎化により会社撤退により現在は東濃鉄道一社となり、運行本数も激減した。現在コミバスで対応いただいているが利用者が少なく、使いやすいコミバスしなくてはならない。運行路線も公共交通路線との競合を避ける等配慮が必要である。阿木のコミバスが運休時に市民病院への活用がされており、良いやり方と思う。蛭川から本庁へ行くにも、又市民病院へ行くにも乗り継ぎをしないと公共交通では行けない、地域の交通を検討いただきたい。	交通は地域の歴史から出来ています。声を行政に伝え考えていただきたいです。
	①幼・保・小・の連携について、蛭川では昔から協議会があり、各分野の方々集まり協議いただいている。連携は大切な事で早く他地域へ広めていただきたい。	①は意見として
	②本日の産建委員会の報告で横文字が多い、高齢者向けにも分かり易い日本語で説明出来ないか。	②は議会改革でも分かり易いを進めているので、全議員に伝えます。
		②について分かり易くする様観光課に伝えます。

リニアの活用で農業関係のPRとあったが、国の政策として5年で補助金がカットされる報道があった。中山間地域農業の活性化が大切と考える、市は環境を守る事を考えていただきたい。	一般質問でもありましたが、第三期中山間地直接支払制度も来年終わるので、継続要望をするように要望しました。TPP問題や転作問題からも地域全員で守っていきたいです。
	市長も農協出身者で農林業の大切さを言っている、中津川市も農地、林地も多く議会も応援したいです。
	昨日の阿木でも意見をいただきましたので、合わせて伝えます。
蛭川はエリアトークで防災無線に取り組んでいる、地域コミュニティーを大切に考えているが、今は防災関係が中心で地域コミュニティーが崩れる事を心配する。コミュニティー構築へ力を入れてほしい、防災のみでなく、コミュニティー構築へ支援してほしい。	防災だと予算が取り易く補助金も使い易いと思います。コミュニティー構築へも補助要望を伝えたいです。
産業振興から、道の駅を作っていただきたい。最近地域の活性化で道の駅の役割が報道されている、道の駅で通年的にイベント開催が出来る施設が良い。	最近の観光行政は道の駅中心が多く伝えられています。観光課へ要望として伝えます。
	私も出掛けた時に道の駅を利用します。道の駅はその地域の状況が良く分かります。かつて和歌山県が岐阜県の道の駅を視察し、現在は多く設置されています。道の駅は地域情報発信の良い施設で良い提案として伝えたいです。

中津	議会改革のIT化について協議中と聞いたが、良いことと思うがどのような協議をしているのか。	パソコン等のIT機器を議会協議の場での使用について協議しています。他市先進地を参考に費用面も含めて協議しています。
	IT機器は今宵の報告会でも使用されている。本当は使用してはいけないのか。	IT機器の使用は議場等での使用について協議しています。
	議会改革に違和感を持っている、行政と議会が一つの事に同じ方向を向いている、同じ方向を向いて居てチェック機能を十分発揮出来るのか。①リニアの件で、行政は同盟会等で、議会は特別委員会で推進に向かっている。リニアにはマイナス面も有るのではないのか、同じ方向を向いて居て冷静な判断が出来るのか。例えば電磁波の悪影響について、数値を出して説明してほしい、出来ていないのでは。②残土処理も先が見えない。③稀少植物にも多少は影響があると思われ守る必要がある、市はやるべきだ。④議会は全般にしっかりチェックしてほしい、冷静に見る立ち位置が大切と思う。⑤障害者問題について、小池裁判が終結した市は謝罪すべきだ、議会、議員から市に換言されたか、されなかったことを残念と思う。議会改革にはさらに盛ってあるがしっかり位置づけることが必要と思う。リニアはプラス面もマイナス面もあり、負の観点から市に言っていたきたい、市民の中にも小さな不安な声があることを。	ご意見を真摯に受け止め全議員、行政に伝えます。
	産建委員会で中津川は工業も大切では無いか、今回は観光と言う事で工業関係は別の機会と言うことか。	産建の担当が広く今回は観光についての報告です。
	大きな出来事にリニアがある、効果を数値的に示してほしい。文章は華やかな表現と成るので数値が良い。	数値があるものは数値で伝えます。
		数値と言うお話がありましたが、駅は造られます、我々も危機感を持って14年後の次の世代の為に今持っている考えを出しています。今後も皆様の支援をお願いします。
	以前図書館建設問題で新しい図書館建設に半分期待していた、私は図書館や公民館を良く使う。8万の市としては、充実度は低いと思う、今後どのように図書館、公民館の充実を進めるのか。	図書館問題は選挙で結論が出ました。今、市では総合計画を作っています。今後耐震、トイレ、雨漏り等対策を進めます。議会も同意して進めています。読書活動は大切とし中央図書館、済美図書館だけでなく、各公民館で読めるように更にその他の公共施設でも読書出来る様検討しています。読書基本条例制定し推進しています。

	図書館問題で分かったことは学校図書の不足で充足率が低かったです。将来の子ども達の為に学校図書を充実してます。大きな学校は少々残るが、100%充実しました。本の交換も10年では遅く、7～8年で替える必要があります。図書館司書も多く採用し巡回指導等も行っています。
観光客が減少している、その理由はリピーター等の減少か	説明のグラフの様にピークから景気の動向に左右され、景気が悪いと下がります。以前のリーマンショックや大災害等も影響しています。キャンプ場等も多く、天候にも左右されています。
他市の状況もそうなのか	他市も同じ状況です。
①子ども・子育て新システムが出来、法律制定され平成27年から始まる市役所の事務量が増え煩雑と成らないか心配する。新システムは決め手が市区町村で、子ども・子育て会議で決定される、保育料等もあり来年の募集までに決める必要がある。会議の中で子供そのものの現状が話されていない、経営方面ばかり。保育時間は労働時間を考慮してほしい、中津川は8時間を要望してほしい。②認定保育園は公で残してほしい、要望も多い。来年子ども・子育て会議決った事が公表される、現状の保育環境を維持してほしい。	要望
認定こども園の話で法律を認識しているのか。幼保一元化が待機児童の関係で国が推進し国は権限を移譲した、議会は認識しているのか。子ども・子育て会議の内容を市民に伝えてほしい、子供を尊重し現在の保育環境を維持してほしい、一人一人を均等に扱ってほしい。	私個人は認識していないです。資料を見ているが記載がありません。もうすぐ一年生のパンフレットで認識しています。以前坂下の方から色々聞かされた事があります。それぞれの情報交換をすべきと思います。
保護者と議会の対話集会を開いてほしい。	良いと思います。
	議会としては対話集会は開催出来ません。市内には沢山の団体があり、全て対応出来ないから、保護者主催で開催し全議員に呼び掛ける形の開催がよいです。事例として区長会や防災士会等があります。この形の開催で理解してほしいです。
子ども・子育て会議のホームページに写真を載せたいのですが、写真撮影は良いでしょうか。	ここの議員は了解です。
リニアの要望を上げると検討する所はあるか、返事はいただけるのか。請願、要望を議会の何処で対応するのか。	議会では内容によって、産業建設委員会や総務企画委員会で対応と思いますが、リニアは内容が色々あり内容で判断します。
	ホームページに請願、要望の要綱が載っています。

坂本	市長と議会が相互に連携といわれたが、癒着ではないか。	二代表制である相互の関係をしっかり表示しています。
	市民と議会の活発な意見交換をと言われたがどのように進めるのか。	対話集会や、それぞれの議員活動を通じて行います。
	議会、委員会の傍聴に資料の提供ができないか。	少しでも改革を前に進めます。
	基本条例4条(3)2の障害者の議会活動について、解説に10年前の事件が要因と明記してほしい。	障害者基本法の理念に基づき、議会活動を保障しています。
	坂本地区も公共交通機関が少なく、交通弱者の解消のため飛翔の里のバスの空き時間の活用などを考えられないか。	タクシー(オンデマンド)、NPO, ボランティアの活用などを検討していただけたらと思います。
	新火葬場の近況について。	選定委員会で出された2か所のうち苗木は断られたので、銭亀地区とのあいだで前向きな関係で話し合いが進んでいます。
	神坂スマートインターは白紙になったのか。今どうなっていますか。	地権者の関係で中断していますが話はしています。
	坂本小学校の教室不足, 校舎不足の解消を。	要望
	第2の坂本小学校が必要。	要望
	リニアを見据えた観光、地域の活性化、定住推進を。	要望
	濃飛自動車, リニアで坂本地区が分断され、住民が不便にならないように検討してほしい。	要望
	リニアに関してデメリットを小さく、メリットを大きくする努力をしてほしい。	要望
	図書館の改修はしっかりやってほしい。	要望
	リニアについて住民の感覚として、自然破壊、公害、景観、固定資産税などの問題がおおくあり心配。	意見

馬籠	通年議会、議会の夜間、休日開催について3年前にも報告があったが、全然進んでいない。	議会改革は優先優位をつけ改革している。今後市民の声を聴きながら、できることから順次進めます。
	市民との対話集会と言いながら、市民にとって意味があるのか。多くの人に参加してほしいが来ていただけない。参加者を増やすようにする必要がある。	議会として対話集会を、理解していただけるように努力したいです。
	職員の給料が減っているが、議員は。	職員に合わせ議員も削減しています。
	公共交通機関を生かしたまちづくりと、公共交通機関の存続の観点からも、行政と市民が協力し、高齢者にも一定の負担をしていただき、福祉予算で市内どこでも、いつでも利用できるようにしたら、公共交通機関を利用したシャトルバスで、市内の各施設を回遊できるようなシステムを検討したらどうか。	公共交通機関と行政とも連携して検討していきます。
	坂下から山口までの北恵那バスを、神坂、落合まで議員の政治力で延長してほしい。	今後検討します。
	斎場の近況は。	2か所を候補地に選定したが苗木は断られ、現在今の場所で地元と話をしています。地元が了解していただければすぐできます。
	汚泥処理施設の近況は。	候補地を現在6箇所に絞り込み、今後一か所に選定していきます。
	子どもの教育を人づくりに繋げていくためにも、地元との関わり、行事、祭りなどに積極的に参加させてほしい。	教習指導により、地域との関わりは重視しています。
	坂本での幼保小の連携の効果はどうか。	小学校入学前に同じレベルで幼保、小学校、親が連携をして躰を行い効果が出ています。
	農業の見透ができる情報がほしい。農業のことをもっと考えてほしい。	専門化の声を聴かせていただき、行政と一体になって進めていきたいです。
	旧役場職員で、山間地の農林業が分かっている職員をもっと生かしてほしい。	農林部には、農林業に携わってきた旧役場職員が多く配置されています。

福岡	議員定数削減の目的は何か。	経費削減の目的で21名と20名の案が出されたが採決の結果21名になりました。
	地域の声を聴くためには、定数を削減すべきではなく歳費を下げて定数を維持して、地域の声を伝えられる様にすべきである。	21名でも大丈夫です。
	行政とは関係ないが、老人クラブの役員選出で引き受け手がなく困っています。坂本地区でも同じようなことがあったと聞きました。どのように解決されたか教えてください。	2・3か月遅れて解決できたと聞いています。じっくり時間をかけられたらいいかですか。
	保育士は保護者の安心のために、できるだけ地元の人を配置してほしい。	適材適所の関係で地元への配置には、苦慮しているのが現状です。
付知	行政改革の今後の予定の主なものの中の行政視察の在り方について、具体的に説明をいただきたい。	行政視察の在り方については、何を課題として行政視察に行くのか、経費をかけることを含めて行政改革の在り方全体を今後考えていきたいです。
	議員報酬と政務調査費についても伺いたい。	非常に難しい問題で、最初から課題として取り上げています。市民からは「高い」と言われています。アンケートを取った中にでも「高い」、「妥当」という意見が半々でした。そういう中で色々と検討はしているが、議員に間でなかなかまとまるものでなく、課題として挙げています。
	リニアの件ですが、質疑の中で恵那市との連携を図ったらどうかとありましたが、恵那でなくて、坂本に駅が出来れば大きなアクセスの中で、高山・富山へ行くとか、東京から来ていただくことを考えると、もっと大きな連携をしていかなければいけないと思いますが。	言われる通りです。ここで出た質疑は、恵那峡がほとんど中津川市で、恵那が遊覧船を出してやっていることを踏まえて、恵那市ともっと連携していくべきだという意見であります。
	マスタープランについて、市から地域に出て「こういう方向でやりたいよ！」というのは、市の財政等があるので結構ですが、方針を出されるのであれば、受ける地域にとっては大変なことです。もう少し細かい、収入と経費等の具体的なもの（こうやっていけばいいよ！）を出して地域に投げかけることを、議員の方で検討や執行部へのお願いをしていただきたい。	個別のところで分からない所がありますので、公設のところについては、持ち帰って市にこういう意見があったと提言させていただきたいと思います。 住宅の件ですが、民営化にするということがマスタープランに出ていました。全体の中でマスタープランを考えるものであって、各地域の実情に合わせたプランに仕上げていかなければならないです。これから仕上げていくプランと思っております。

焦らないで、ゆっくり時間をかけてやってほしい。	住宅政策は、地域にとってどういう住宅政策が必要であるかということを「まち協」の中で話し合っていて、議員も地域の代表として話し合うという構図が、議会の在り方と言えど考えます。 地域の実情を踏まえたマスタープランでないといけません。加子母については今、「むらづくり協議会」の中で検討されております。付知でも検討されると思いますので、その中で今後いい形でのプランが出来てくると思います。 中津川市はかなり施設が多いのも現実ですので、地域の事を考えてもある程度減らしていけないといけません。地域の中で何を残す、何を廃止する、を考えていく時があるのではないかと考えます。
廃止する場合、こういう施設は田舎の方がいい！とかを考えながら決めていただかないと、遠い所から順番に壊していこうという考え方があるのであれば、議員の皆さんが「待った！」をかけていただけるとありがたいです。	地域に必要なかどうかということだと思います。地域の人もいろいろ考えながら協力することも必要であるし、市も私たちも地域の実情を考えながらやっていくことが大事と考えます。
保育園と幼稚園と小学校の話が出ましたが、坂本小学校が120人でしたが、阿木と神坂と山口と蛭川と加子母を合わせると何人ぐらいですか。	数字について即答できませんが、感覚的に坂本の一学年よりも少ないと思います。
マスタープランと重なりますが、全般的な考え方として、端っこは切っしていこうという考え方を皆さんしているのではないかと。	教育委員会は、学校の統廃合については最低でも一学年二クラスがあつて、クラス替えが出来る人数が望ましいという話をしているわけです。それが子供たちのためにとってとても大事だという教育の観点から言ったわけです。大規模校の良さ、小規模校の良さをしっかりと認識したうえで地域に何が必要か？じっくりと時間をかけて皆さんと話し合うことが必要と考えます。
軽四の税金が上がるという話ですが、田舎に住んでいる人にとっては大変なことで、バスもない、タクシーは付知も加子母もなくなった。何ともならないので、仕方なく車に乗っている。軽なら税金も安いし。軽四の増税に対する反対決議を中津川市の議員の皆さんはするつもりがあるのでしょうか。	現在のところ軽自動車の税金について、執行部の方から何も提案はないと解釈していますので、来てから、それぞれ各会派、各個人議員で対応していくことになるかと思います。 マスタープランですが、中津川市の財政を踏まえた中で、指定管理も含めて施設運営のやり方については、冷たい言葉かもしれませんが、やはり「費用対効果」を見ていく必要があります。市内に本当に多くの施設があり、本当に有効利用されているのかということもあります。効果的な利用についての観点から追及していく必要があると思います。冷たい見方と地域を見た暖かい行政の中でやっていく必要性を思っています。

苗木	住民はリニアの事に非常に関心を持って見えますが、現在の道路等が車両基地を作ることによって分断されたり、位置変更に至る恐れがあると見受けられますが、市議会としてどのように考えているのか伺いたい。それと、開業後の駅の利用者はおそらく12%位増えるだけではないかと報道されています。先ほどの報告では具体的数字に触れていませんが、議会としてどのように考えていますか。	具体的に車両基地に伴う工事、もしくは、利用者の増加部分までは話を伺っておりません。これから随時説明があると思いますけど、具体的な工事とかそれに伴ういろんな具体的な問題については、産業建設委員会に出てくると思います。
	後世にまたがって、協働という形と末端まで情報の共有を浸透させることが第一です。今、リニアの話が有りましたが、地域おこしも含め、これからは財源が一番問題になります。ここら当りをもう少し強く、社会全体でリスクを負うという体制を整えておかないと前に進めない。原点は中津川のキャッシュフローは健全なのかどうか、全市民に知らしめておく必要がある。ここらあたりが一番大切であると思っています。	財源についてですが、確かに中津川市は厳しい財政の中でやってきているのが事実です。今、市が取り組みを進めているのは、借金を平成32年度までに約28%減らしていくことです。色んな特別会計への繰出し金を、それぞれの会計が自立していける形を目指して役4%減らそうということで、見直しをしています。特に、マスタープランということで、合併前から旧町村・旧市内に有った施設で、有効活用されていないとか重複している施設を見直しする中において、維持管理費を減らす計画を作り実践しているところですよ。厳しい財源の中においてもそういう形で確保していきます。リニアについても、基金の積み立てという形で、どれだけ費用が掛かるかということは、これから計画を作っていかなければわからない所がありますが、職員の削減による人件費の削減等の方法を取りながら、元気の出る中津川市を創っていく計画でいます。
	福祉関係については、高齢者にとっては認知症の問題です。こういう方たちにとって健全に暮らせる環境にあるのか。もう一つは、生まれてから中津川市は本当に子育て支援が充実しているかどうかがあります。	限られた財政の中で何を優先していくか？何を地域の方々が望んでいるのか、ということ把握し、吸い上げて執行部と対峙していく、協働していくことが我々の仕事ではないかと思っています。
	エネルギーの問題があります。健全な未来が出来てくると子供たちの夢が出来てくる。次代を担う子供たちが夢を持てるような状態にあるか。それは、協働という形で強く打ち出していただき、リスクは全体で負っていく。こういう形を取っていただくと良いと思います。	エネルギーについて、小水力・バイオマスがこの辺では有効ではないか、国の施策の様に、太陽光という一定ではなく、地域に合った発電エネルギーを使うということがこれから大事だと思います。特に中津川市は、用水を使った小水力や木によるバイオマス、研究していかなければと思っています。
	今から日本・海外にPRしていくためには、中津川に付加価値を付けていく。中津川に来るとホッ！とするという環境・土壌づくりが大事だと思います。リニアが来るので、広く新しいまちお越しをしたらどうですか。	提案

エネルギーと環境について、市議会の皆さんに協力していただきたいのは、市の剪定とかの植物を集めて、固めてオガライト風にするなりしてエネルギーにすることが出来ると思うわけです。細かくして炭化すれば燃料、重油燃料の様に焚ける。市庁舎の建て替えも含め、これから建物にそういう燃料を使ってはどうかということも視野に入れながら議会でも話をして言っていただきたい。	個人的に是非見させていただき、参考にさせていただきたいと思っています。
リニアの駅が決定されたということで、観光面でこれから整備をしていく必要があると思います。苗木には高峰湖があり、秋には紅葉を見に来る客を受ける方向と、高峰山荘があり、来年度以降、営業をなんとかして続けたいということです。今猪が、農家の作物を荒らして、非常に農家の人も被害にあって困っているということで、これをなんとか有効にできないかということで、保健所の許可が通るような施設を作っていただいて、そこで解体して肉にすれば観光客に提供ができ、肉としても販売できる。 「桜公園」ですが、桜の時期になっても道が狭くて大型バスが入れないので、大型バスが入れる道路整備と駐車場が必要ではないかと思っています。 もう一点、トンネルで出た土を有効・計画的に埋めて、広大な土地を作り、原子力発電に変わる大規模な太陽光発電施設を設置することが将来必要だと思います。	観光についてですが、中津川市の日本一を100箇所位つくって、それをこれから売り出していくということで、今所管部で行っています。 猪ですが、24年度には、すごい数で駆除する人が追い付かないということで、今年から職員と市民の方に狩猟の免許を補助金を出して、10名ほど増やしていくということです。猪の解体ですが、今現在ある解体するところでは、同じ場所で家畜と動物は出来ないということで、全然違うところが2か所無いとできないということで、駆除の方と施設の二つあります。農林部でやっていますが、このことは承知しておりますので、これから何かし進んでいくと思っています。 トンネル残土の問題ですが、JRでは、余る土があれば、有効利用もしていくと思いますが、まだ、我々にも情報が入っていないのでちょっとわかりません。
猪の駆除に関しては、県に入らなければならない、猟友会に入らなければならない。なんやかんやで4・5万円かかる。その辺の事情をよく踏まえて、議員の方も県へ陳情するなりしていただきたい。免許を持っている潜在者はものすごく多いと思います。その方たちを有効に利用する方法も考えていただきたい。 先日、市有財産の見直しの説明を聞きましたが、中津川市全体で665施設あるらしい。これが、なぜ平成17年に合併して、今まで放っておいたのか？今回初めて数量的な報告もお聞きしました。クアリゾート湯舟沢ですが、聴くところによると赤字が何億とあるということです。そういう情報を早く教えていただきたい。それによって、我々がいろんな提言をしていけるかもしれない。市有施設の事にしても600幾つあるということを知らなかった。そういう情報を含めて、早く市民に広める方法を進めていただきたい。	マスタープランについては、将来の方針であって、それで決まったわけではなく、それをこれから協議していくということです。決まったということで理解しないようお願いいたします。

私は出来るだけ横文字を少なくしていただいて、日本語に訳さなくてもいいようなものにしていただきたい。例えば、「デマンド」、「ブラッシュアップ」。高齢化が進んでおり、私の様に高齢者に日本語に訳して説明しなくてよいように議会に皆さんはよろしく願いいたします。

リニアを作るのであれば、百年、二百年後の子たち、孫たちに「もうちょっとここは何とかならなかったのか？」と言われないように、先祖はよく考えてその当時は大変やったと思うけども、先見の目が有ったなと思ってもらえるようお願いします。

また、駐車場も来た人たちの利便性を考えたなら、こんな広い駐車場をよく作っておいてくれたな！という位に、作っていただきたいと思います。ぜひ議会でそういう場がありましたら、議員の皆さんはそういうことを指導していただきたいと思っています。

限られた少ない予算の中で、市として何が一番大事なのか？優先順位を考えてもらって、市としてはここが大事であり、ここに予算をつぎ込まなければアカンのや。それから俺たちの地域を考えるという広い視野に立って、大きな立場で中津川市全体を見ていただきたいと思います。

そういう議員の心構えを捉えて、この議会基本条例という形の中で、議員が一つの塊として、考えを持てるように議会基本条例を提案させていただいています。

川上	限界集落におけるバスの運用について、大変な出費がかかっていることが、現実目の当りにあるわけで、中津川市全体で弱者に対する救いを出すということで、今まで通り運営をしていただきたいと思っております。 観光の問題ですが、中津川市が手詰まりの状態であり、地域性としてみれば、馬籠が中心となって今後伸ばしていくということになれば、現実的あるいは、観光的な形ででも人を呼び込める第2の形の考え方として、地域の人たちが活性化につながるような方向になっていくと思います。中々話がまとまることは一筋縄ではいかないと思いますが、その辺を一つ真剣に何とかいい方向に持っていければありがたい。 リニアの問題ですが、恵那の方が潤うような形になっていかないように、中津川市の方で活性化して、若者たちがこうした限界集落から通って、生活の場というものが確立されるような方向に議会としても、若い者に対して今後の中津川市、ここに活力有というような、本当に迫力のある行政をやっていただきたいと切望するわけです。	公共交通が、実際このような形の経費が掛かっていたということであり、定時運行でやっていることは、空気を運んでいることもあり、ニーズが合わないということがあります。是非、予約型みたいなものでうまく搬送できれば、もっと安くなるのではないかと委員会を検討しています。また、その辺を市の方にも提案をして、できるだけきめ細かな交通輸送ができるように、我々も研究していきたいと思っています。
		実際外部からのお客さんが集まるのは、今の中津川市では馬籠ということで、これはこれからも力を入れていくということです。濃飛横断自動車道とかリニア駅へのアクセス道路については、JRからまだ全然出ていないので、これから順番に出てくれば、道路というものも当然変わってくると思います。
		名古屋経済圏・名古屋市に住んで見える方は、何を見ているかというと、中津川市の都会部分を期待して来ているのではないことが良く見受けられます。何を期待してくるかということ、大変豊富にある自然、特に「水」。清流の美しさとか秋の紅葉とか、そういうものに子供を連れて日帰りが出来る場所を求めてくることを考えます。
		中津川を中心とした恵那、木曽方面、郡上方面をどう繋げるのかという話が有りましたが、基本的な分野で、今リニアの話が進んでいます。県レベルでの話が多いわけですが、順番に時間をかけながら大きなサイドでどういう具合に繋いでいくのかということは、これから論議になると思います。

教育について、川上保育園、小学校、中学校が確か毎月、一日先生方と保育士が一緒になって話をするというのを設けていました。個々の子どもたちについて情報を交換して、それが小学校へ入学したときにつながる、そして中学校へつながったという、非常に効果があったと思っていますので、是非、こういった取り組みは、大規模に限らず小規模校においても取り組みを続けてほしいと思います。 都会よりもこういった自然を求めてくるお客さんが多いということですが、その通りだと感じています。決して「ガラガラした観光」ではなくて、静かな自然に親しむということです。一番残念だなということは、道路の知名度がないということです。道路は徐々に整備され、カーブがかなり抜けて良くなっております。そういった努力は県等でもされていますが、残念ながらそれが外へつながっていかない。道路の情報が外へつながっていったいない。道路のPRを！観光地ばかりを宣伝するのではなく、アクセスの問題なども是非進めていって欲しいと思います。	川上地域の小学校と保育園はずいぶん積極的に運動をしているようです。保育園と小学校の運動会を合同でやったらどうか？山口ではすでに幼稚園と小学校が合同でやっています。これぞ連携の賜物だと思いますので、議員としての提言を進めていきたいと思っています。
	執行部の方にしっかり考えて、これからやっていくように伝えておきます。
3号線だけではなく、他の地でもそうだと思いますが、山間部の道路事情が中々観光客の皆さんに伝わっていかない部分があるということで、何か一ついい方法がみんなで見つけていければいいなと思います。道路自体を観光の道にしていくような、川上ですともみじを植えますけど。そういうことで、良くしていけたらと思います。	提案

	リニアについて、中津川にとって一つ夢のあるプロジェクトかなと思っています。中津川市の良さが全国に向けて発信できるということで、リニアの駅からは川上は離れておりますが、期待していきたいと思っています。そういう中で、例えば、大鹿村のトンネルから取り出された残土の運搬問題も大変なことだと思いました。リニアを企画したまちづくりを考えていくうえで、そういう不安対策、これから起きてくると考えられる問題に対しての対策も同時に進めていく必要があるのではないかな。こういう問題が多分起きるだろう、こういうことに対策を立てますよとアピールしていただきたいと思います。 リニアの工事が始まれば、他県から多くの労働者(人)が入ってきます。商業的には活性する部分があると思いますが、治安という面で不安を感じるだろうという問題も生じる。例えば、中学生、高校生が持っているスマートフォンは、インターネットで援助交際の問題が有ったりして、今の現状がさらに悪化するということも考えられますので、対策という点では、産業建設委員会だけではなく、文教民生委員会との連携も必要となってくると考えます。そういうところとも連携を取っていただければと思います。	川上で一番関係しますのは、山口から出てくる残土ですが、登坂車線の終わる乙姫に出ますよね。量がどのくらいあるかというと、130万m³だそうです。それをどこに運ぶかということは、今決まっていけないわけです。小さな農道の交差点でもガードマンが出て心配はないと思います。 まだ具体的にリニアの残土をどう活用するかということは提案も受けていないし、こちらからこういう風に使って欲しいという話はまだしておりません。そのあたりも踏まえて検討課題であると思います。交通量がかなり増えるということに関しては、特に坂本地域を中止とした車の交通安全の対策、大きな車が通るとのことの対策は行っていくことが予想されます。 ラインだとかフェイスブック等のサイトによる問題が沢山出ていることは承知しておりますが、教育現場で子供に分かるように説明することが必要だし、保護者にも同じように働きかけをすることが必要だと思います。 私は、フェイスブックもラインもやっています。悪い方に使えばそうですが、禁止して広がらないというものではないので、どうやって上手く使っていくかということ、私たちが親もそうですが、地域が守っていくということが大事だと思います。
--	--	---